

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

教科： 芸術 科目： 音楽Ⅱ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： （1 2 組： 神田） （3 4 組： 神田） （5 6 7 組： 神田） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
 使用教科書： （ MOUSA2 ）

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 多様な芸術の知識と技術を学び、自ら芸術作品を生み出したり、他者の芸術を理解し鑑賞することができる。
 【思考力、判断力、表現力等】 芸術の良さの源泉について思考し、感動をもたらす要素について知識をもとに判断し、その感動を他者に対して効果的に表現することができる。
 【学びに向かう力、人間性等】 多様な芸術についてそれぞれの魅力を理解し、鑑賞や創作を通じて生涯において芸術を尊重し愛好する心情を育む。

科目 音楽Ⅱ	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	多様な音楽の知識と技術を学び、独唱・独奏から多人数でのアンサンブルを楽しむことができる。	音楽の良さの源泉について思考し、音楽の諸要素と関連付けながら適切な要素を判断し、効果的に表現することができる。	多様な音楽についてそれぞれの魅力を理解し、鑑賞や演奏を通じて生涯において芸術を尊重し愛好する心情を育む。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	【知識及び技能に関する目標】発声のメカニズムについて理解し、身体をどのように使えば響きのある声ができるのかを学び実践する。相対音感について学び、他の音を聴いて自分の音を出せるソルフェージュ能力を伸長する。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】響きのある発声で、他のパートとハーモニーを作りながら歌うことができる。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】響きのある発声の良さ、合唱時の合わせやすさに気づき、互いの声を聴きあいながら歌うよう努力している。	○歌唱・合唱の技能を学ぶ	○		○	発生時の姿勢、呼吸、口腔の開き、鼻腔の響きに留意し、積極的に声を出しながら歌っている。 他のパートの音を聴きながら、つられずに自分のパートを歌い、ハーモニーを作ることができる。 合唱演奏を鑑賞し、ハーモニーの良さ、表現の工夫などを感じ取ることができる。	○	○	○	12
	【知識及び技能に関する目標】リコーダーの奏法を理解し、音楽表現に留意しながら演奏することができる。アンサンブルで息を合わせたリ、表現を合わせたりすることで美しい演奏をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等に関する目標】アンサンブルの合わせ方、表現の工夫などを考え、実践することができる。 【学びに向かう力、人間性等に関する目標】他者と合わせて演奏し、表現を磨き上げることの楽しさを味わい、積極的に美しい音楽を作ろうとしている。	○リコーダーアンサンブル		○	○	リコーダーで自分のパートを正しく演奏できている。 アンサンブルで息や表現の仕方を合わせて、一体となった演奏ができている。	○	○	○	12

